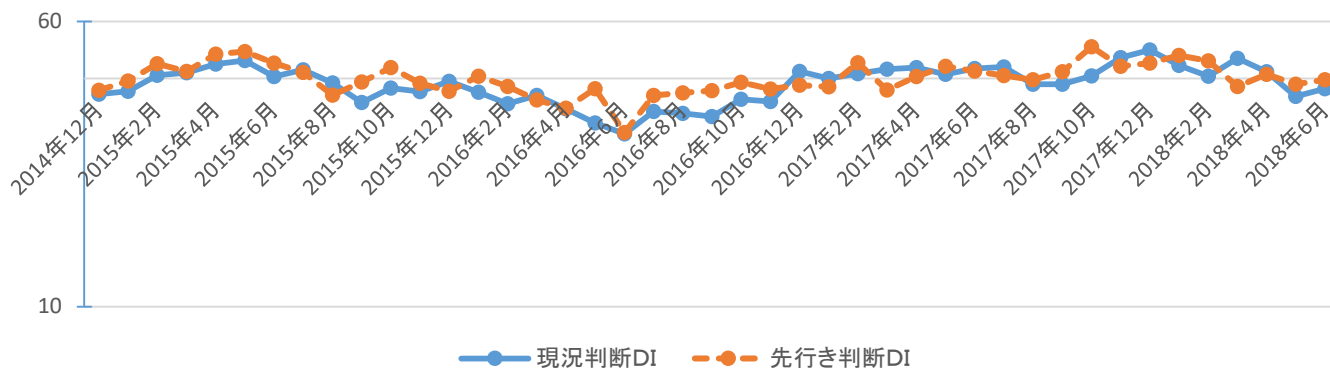


## 東海地域 現状・先行きDIの推移



### ◆東海地方 2018年6月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計動向関連	やや良	《単価の動き》来客数は前年を割っており回復していないが、客単価が上昇している。弁当やおにぎり等主力商品に回復の兆しがみえている。【コンビニ（エリア担当）】
		不変	《お客様の様子》国際情勢の大きな変化やサッカーワールドカップによる好況感はあるが、実際の消費は、来客数、単価共に変化はみられない。【スーパー（営業企画）】
		やや悪	《その他》施設利用者数は上限に達している一方、職員の待遇改善による人件費の上昇、光熱費、ガソリン等諸経費の増加により収益は上がりにくい。【その他サービス【介護サービス】（職員）】
	企業動向関連	やや良	《受注量や販売量の動き》新規引き合いが2倍以上になっており、見積りに掛かる時間が大幅に増えている。従来と異なった用途の需要も増えている。【窯業・土石製品製造業（社員）】
		不変	《取引先の様子》株価が上がらず為替もボックス圏内で動かない状況であり、個人投資家は含み益が出ず様子見で、消費にも向かいにくい。投資家以外の個人も給料が上がる実感はなく、消費拡大には向かっていない。【金融業（企画担当）】
		やや悪	《受注量や販売量の動き》受注量が減少している。原材料の値上がりに伴う価格の改訂を進めているが、以前の価格のままの受注も半数くらいあり、利益を圧迫している。【金属製品製造業（経営者）】
	雇用関連	やや良	《採用者数の動き》自動車生産においては前年度末の生産調整が終わり、徐々に上向き傾向であるが、大阪北部地震の影響が懸念される。【アウトソーシング企業（エリア担当）】
		不変	《求職者数の動き》前年同期と比較すると、パート希望の高年齢求職者の増加に加え、それよりも若い年齢層のフルタイム求職者にもやや増加がみられ、今後の動向を注視している。【職業安定所（所長）】
		やや悪	《求人数の動き》数年ぶりに大手工場の求人広告が出てきたが、求人広告全体の件数としては、4月以降前年同月を下回っている。【新聞社【求人広告】（営業担当）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計動向関連	やや良	品質管理にもめどが立ち、秋に向けて仕事も堅調に動いていく。消費税の引上げ前の駆け込み需要や東京オリンピックに向けて消費が上向きになる。【コンビニ（企画担当）】
		不変	来客数を増やすための施策を打っているが、なかなか数字は伸びず来客数は前年を割り続けている。まずは来客数を100%にすることが急務である。【スーパー（商品開発担当）】
		やや悪	紙巻たばこの売上が減少し、電子たばこの売上が増加している。電子たばこは売場が限定されており、しばらくは売上に影響してくる。【コンビニ（店長）】
	企業動向関連	やや良	年末にかけて、客先業界の設備投資が少しずつ増加していくことを期待している。【電気機械器具製造業（経営者）】
		不変	新しい仕事を手掛けていくなかで、出資や投資が出てくる。新しい事業や仕事の受注が増えていくよう行動していくため、上向きになってほしい。【建設業（営業担当）】
		やや悪	一部の企業で景気が良くなっているだけである。中小企業や末端の企業には、景気が良くなったというムードは全く流れていない。【出版・印刷・同関連産業（営業担当）】
	雇用関連	やや良	ボーナス支給明けて登録者数は増加傾向である。ここからお盆に差し掛かるまでは、採用決定数の増加が見込める。【民間職業紹介機関（営業担当）】
		不変	燃料や原料価格の高騰、運送・運搬費の値上げ、人手不足による流通への不安等の声が、企業からは少なからず聞かれる。【職業安定所（次長）】
やや悪		改正労働者派遣法で定められた3年満了が、秋以降にかけて本格化してくる。3年満了者に対しては、派遣元による雇用安定措置が法律で義務付けられていることから、次の就業先が決まらない場合、有給による教育訓練が一定割合の負担となることが見込まれる。【人材派遣会社（支店長）】	